

Contents

1 運営の基本方針	1
2 概 要	
1 組 織	1
2 沿 革	2
3 建設概要	3
4 施設概要	3
5 施設配置図	5
3 平成28年度事業体系	6
4 平成28年度主な事業計画	
1 開所20周年を契機に	7
2 人材育成	7
3 調査研究と市町村・公民館支援	8
4 学習情報の積極的な発信	8
5 「学び・交流の場」としての機能充実	9
6 科学教育の推進	9
5 平成27年度事業実績	
1 指導者の養成と研修	10
2 情報提供・学習相談	12
3 生涯学習大学の開設	13
4 調査研究	13
5 交流・連携と施設・設備の活用	13
6 科学教育の普及・推進	14
7 施設設備の利用状況	15
8 生涯学習情報提供システム（ばるネット岡山）	15
9 学習相談件数	16
10 視聴覚コーナー	16
11 視聴覚教材コーナー	16
12 図書・ブラウジングコーナー	16
6 関係条例及び規則	
岡山県生涯学習センター条例	17
岡山県生涯学習センター条例施行規則	19
施設等利用料金表	20

1 運営の基本方針

岡山県生涯学習センターは、県民の生涯にわたる学習活動の振興を図るため、県の拠点施設として、「第2次岡山県教育振興基本計画」等を踏まえ、市町村や関係機関などとの連携を図りながら、次の事項を重点として運営する。

特に、持続可能な地域づくり、つながりづくりを目指し、生涯学習指導者等の地域人材の養成、調査研究、情報発信などの機能強化に努めるとともに、「少・壮・老」の三世代の県民が、仲間（ばる）として、楽しく学習や交流ができるゾーン（「三学ばる岡山」）づくりを進める。

平成28年度取組の重点

① センター開所20周年を契機として社会教育の「可能性」を発信する。

- ◇様々な場面を利用して、媒体や方法を工夫しながら年間を通した普及啓発を実施
- ◇好事例の実践発表、シンポジウムや講演会の開催

② 地域の課題解決の中核になる人材を育成する。

- ◇地域をデザインし、プロデュースする人材の育成
- ◇地域ぐるみで子どもを育てる体制づくりを行う統括コーディネーターの育成

③ まちづくりの拠点となる公民館を支援し、E S Dの観点に立った活動を推進する。

- ◇N P O等と連携した公民館活動活性化の取組
- ◇E S Dの観点に立った公民館活動の県下への普及と公民館職員の資質能力の向上
- ◇地域の課題解決のコンサルティングによる市町村支援

④ 若者の社会参画を推進する。

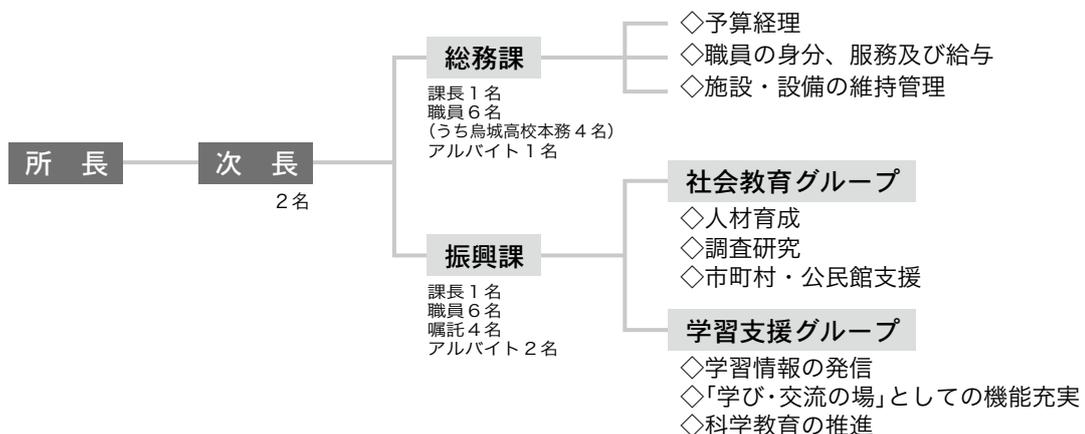
- ◇若者が企画・運営する、公民館を活用した取組の支援と県民への紹介
- ◇若者が主体的に地域づくりに取り組める力を育て、つながりづくりを支援

⑤ 県民の学習を支援するための生涯学習情報を積極的に発信する。

- ◇生涯学習情報提供事業の総合的な見直し
- ◇学習機会・内容の充実

2 概要

1 組織



2 沿 革

平成2年1月	中央教育審議会が文部大臣に対し「生涯学習の基盤整備について」を答申。 この中で、地域の生涯学習を推進するための中心機関となる「生涯学習推進センター」について、都道府県が設置することが適当である旨を答申した。
平成3年4月	第4次岡山県総合福祉計画の中で、学習情報の提供、学習相談、指導者の養成等を行う生涯学習推進センターの必要性及び単位制高等学校の整備を進めることが述べられた。
平成4年3月	岡山県生涯学習推進会議が、「岡山県における生涯学習推進の基本的な考え方」についての意見具申の中で、県の生涯学習推進の中核施設である「生涯学習推進センター」の早急な整備を求めた。
平成5年3月	岡山県立短期大学跡地に、生涯学習推進センター（仮称）と単位制に改編する県立烏城高等学校を一体的に整備する「生涯学習推進センター（仮称）整備基本構想」策定
平成6年3月	「岡山県立短期大学跡地整備基本計画」策定
12月	「岡山県立烏城高等学校・生涯学習推進センター（仮称）基本設計」完了
平成7年3月	「岡山県立烏城高等学校・生涯学習推進センター（仮称）実施設計」完了
11月	建設工事着工
平成8年12月	岡山県生涯学習センター竣工
12月	12月議会において「岡山県生涯学習センター設置条例」制定
平成9年1月	同条例施行、機関設置
2月	岡山県生涯学習センターオープン記念式
2月	岡山県生涯学習情報提供システム「ばるネット岡山」稼働
5月	岡山県生涯学習大学「のびのびキャンパス岡山」開設
平成10年2月	「県立烏城高等学校・県生涯学習センターの一体的運営に関する委員会」発足
10月	岡山県生涯学習情報提供システム「ばるネット岡山」が岡山情報ハイウェイに接続され、インターネット上で情報提供開始
平成12年6月	岡山県公民館連合会事務局を県教育庁生涯学習課から移管
平成12年度	文部省委嘱事業「生涯学習ボランティア推進フォーラム」、「キャリア開発学習情報提供推進事業」実施
11月	岡山県生涯学習推進中核施設連絡協議会を設立
平成13年3月	国庫補助「情報技術学習環境整備事業」によりパソコン教室2を整備
平成14年2月	岡山県生涯学習センター開所5周年記念事業を実施
3月	岡山県生涯学習情報提供システム「ばるネット岡山」を更新
4月	「おかやま長寿学園」を「岡山県生涯学習大学」に統合
6月	岡山県公民館連合会発足50周年に伴う記念事業を実施
7月	岡山県体験活動ボランティア活動支援センターを設置
平成17年4月	生涯学習・社会教育担当者向けの研修をリニューアル
平成18年3月	岡山県生涯学習推進施設中核施設連絡協議会を解散
11月	「まなびピア岡山2007」プレフェスティバルを開所10周年記念事業と兼ねて開催
平成19年2月	岡山県生涯学習情報提供システム「ばるネット岡山」を更新
4月	施設設備の維持管理業務及び施設等の利用許可業務等一部の業務に指定管理者制度を導入
11月	「まなびピア岡山2007in三学ばる岡山」を開催
平成20年11月	池田動物園、県立児童会館、岡山県生涯学習センターで連携し「京山キッズゾーン」を立ち上げ、「第1回京山祭」を開催
11月	「おかやま学びフェスタ2008」を開催
平成21年4月	情報課を振興課に統合し新しく振興課とする。
平成23年3月	県立児童会館閉館
平成23年9月	「岡山県生涯学習センター未来科学棟（仮称）整備基本計画」策定
平成24年4月	「岡山県生涯学習センター運営協議会」設置
平成24年5月	「岡山県生涯学習センター未来科学棟（仮称）専門委員会」設置 （のちに「岡山県生涯学習センター人と科学の未来館サイピア専門委員会」に名称変更）
平成24年6月	岡山県生涯学習センター未来科学棟（仮称）建設工事着手
平成24年10月	新施設の名称が「人と科学の未来館サイピア」に決定
平成25年3月	岡山県生涯学習センター人と科学の未来館サイピア竣工
平成25年4月	施設設備の維持管理業務及び施設等の利用許可業務等の一部の業務に、人と科学の未来館サイピア及び児童遊園地の運営業務、喫茶棟の利用促進業務を加えて指定管理業務を開始 岡山県生涯学習センター人と科学の未来館サイピア開館
平成26年4月	岡山県生涯学習センター人と科学の未来館サイピア 入館者10万人達成
平成27年2月	岡山県生涯学習センター人と科学の未来館サイピア 入館者20万人達成
平成27年7月	岡山県生涯学習センター人と科学の未来館サイピア 入館者25万人達成

3 建設概要

敷地面積 45,010㎡

建築面積 7,566㎡

延床面積 14,320㎡

構造規模

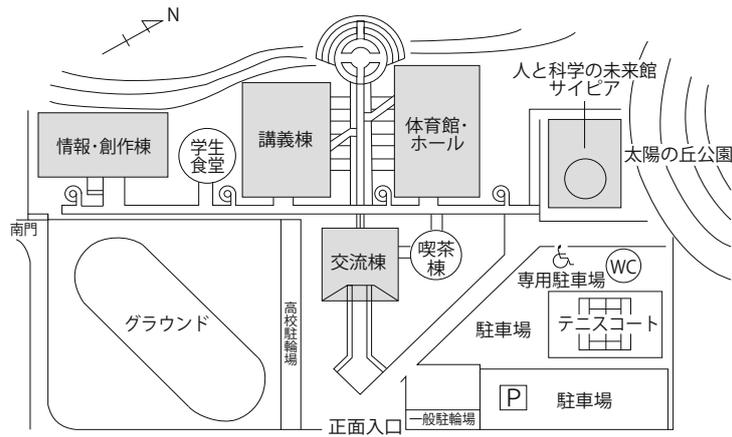
交流棟／鉄筋コンクリート造2階建 学生食堂／鉄筋コンクリート造平屋建
 情報・創作棟／鉄筋コンクリート造5階建 喫茶棟／鉄骨造平屋建
 講義棟／鉄筋コンクリート造5階建 公衆便所／鉄筋コンクリート造平屋建
 体育館／鉄筋コンクリート造2階建
 人と科学の未来館サイピア／鉄筋コンクリート造2階建
 駐車場／鉄骨造、アスファルト・芝生舗装

4 施設概要

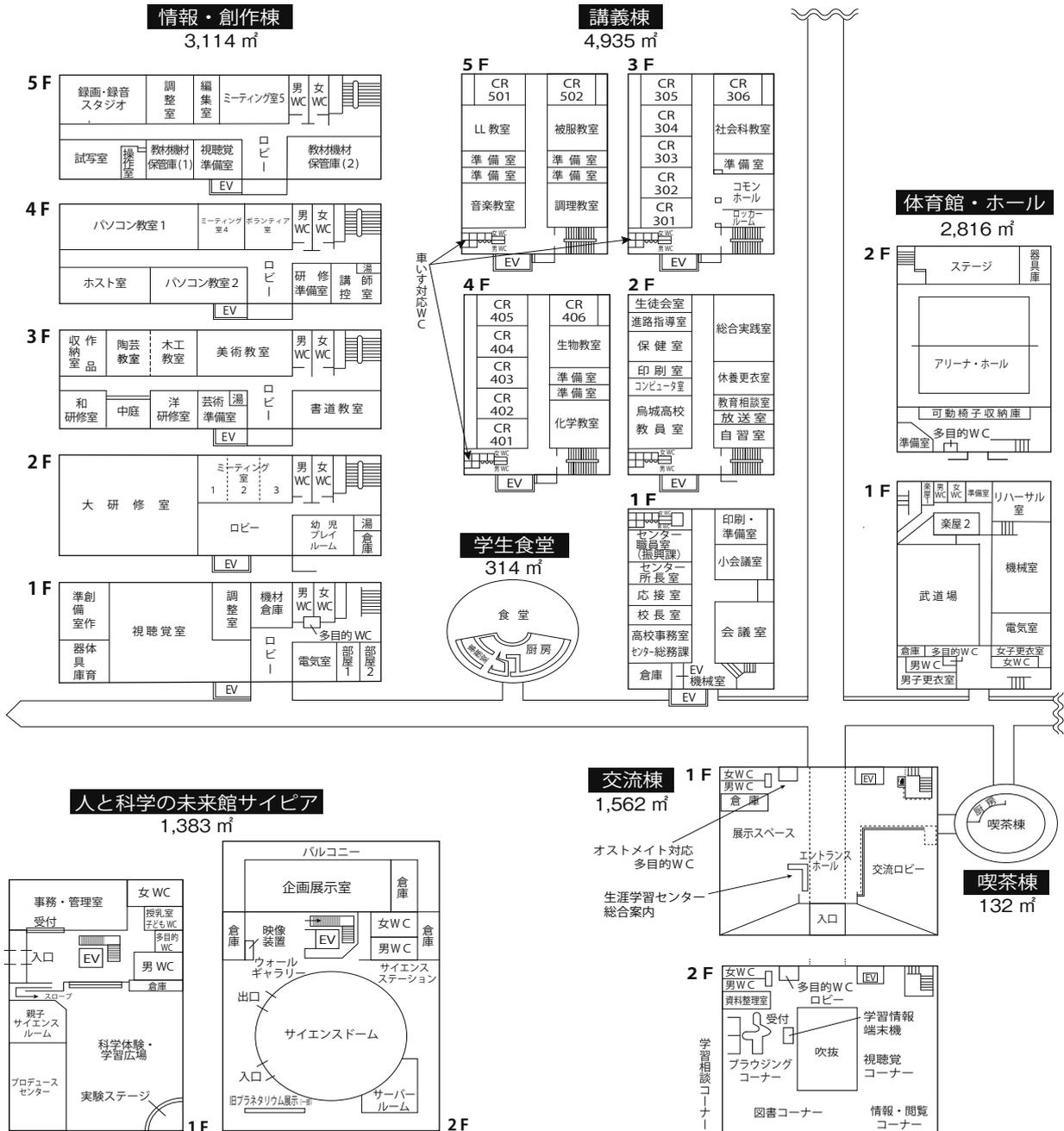
建物	階別	室名	面積	定員	主要設備内容	
情報・創作棟	1階	視聴覚室	261㎡	72人	ハイビジョン対応のプロジェクター、その他各種映像再生機器	
	2階	大研修室	261㎡	150人	液晶プロジェクター、簡易ステージ、DVDビデオデッキ、演台、ホワイトボード、スクリーン	
		ミーティング室1	28㎡	18人	ホワイトボード	
		ミーティング室2	22㎡	12人	ホワイトボード	
		ミーティング室3	28㎡	18人	ホワイトボード	
		幼児プレイルーム	50㎡	—	幼児用絵本、おもちゃ、ビデオ付テレビ等	
	3階	和研修室	33㎡	—	茶道用道具（有料）	
		洋研修室	33㎡	12人	—	
		陶芸教室	39㎡	24人	作業台、電動ろくろ等陶芸工具	
		木工教室	39㎡	8人	卓上糸鋸盤等木工具	
		美術教室	80㎡	35人	チャートハンガー、各種画材用具等、プロジェクションテレビ	
	4階	書道教室	66㎡	32人	チャートハンガー、プロジェクションテレビ	
		パソコン教室1	116㎡	40人	パソコン41台、カラープリンター	
		パソコン教室2	66㎡	20人	パソコン21台、スキャナ付プリンター	
		ボランティア室	40㎡	18人	ホワイトボード、スクリーン	
		ミーティング室4	40㎡	18人	ホワイトボード、スクリーン	
		ホスト室	66㎡	—	—	
	5階	講師控室	28㎡	—	—	
		録画・録音スタジオ	116㎡	—	ベータカムレコーダー等映像機器、デジタルミキサー等音声録音機器、グランドピアノ（有料）	
		編集室	21㎡	—	ビデオタイター、ビデオエディティングシステム、パソコン、Hi8・VHS・DV編集機等	
		ミーティング室5	58㎡	26人	ホワイトボード	
	講義棟	1階	試写室	66㎡	18人	プロジェクター、DVDプレーヤー、16ミリ映写機等
			校長室	40㎡	—	—
応接室			40㎡	—	—	
事務室			75㎡	—	（高校事務室、センター総務課）	
所長室			40㎡	—	—	
センター職員室			80㎡	—	（センター振興課）	
会議室			121㎡	63人	—	
小会議室			64㎡	32人	—	
印刷・準備室	64㎡	—	—			

建 物	階別	室 名	面積	定員	主 要 設 備 内 容
講 義 棟	2 階	教 員 室	160㎡	—	—
		コ ン ピ ュ ー タ 室	40㎡	—	—
		印 刷 室	40㎡	—	—
		保 健 室	66㎡	—	—
		進 路 指 導 室	54㎡	—	—
		生 徒 会 室	43㎡	—	—
		総 合 実 践 室	163㎡	—	パソコン 42台
		休 養 更 衣 室	80㎡	—	—
		教 育 相 談 室	40㎡	—	—
		放 送 室	40㎡	—	—
	自 習 室	80㎡	—	—	
	3 階	CR(クラスルーム)× 6	64㎡	40人	—
		社 会 科 教 室	120㎡	40人	ホワイトボード
		コ モ ン ホ ー ル	80㎡	—	自動販売機、洗面台
		ロ ッ カ ー ル ー ム	80㎡	—	—
	4 階	CR(クラスルーム)× 6	64㎡	40人	—
		生 物 教 室	120㎡	40人	—
		化 学 教 室	121㎡	40人	—
	5 階	CR(クラスルーム)× 2	64㎡	40人	—
		L L 教 室	120㎡	40人	LLシステム
音 楽 教 室		117㎡	40人	グランドピアノ、CD等音響機器	
被 服 教 室		121㎡	40人	—	
		調 理 教 室	120㎡	40人	—
交 流 棟	1 階	展 示 ス ペ ー ス	200㎡	—	生涯学習センター総合案内、展示パネル、展示ケース
		交 流 口 ビ ー	220㎡	80人	プロジェクションテレビ
	2 階	視 聴 覚 コ ー ナ ー	160㎡	—	DVD用ブース（8ブース）
		情 報 閲 覧 コ ー ナ ー	144㎡	—	—
		学 習 相 談 コ ー ナ ー	80㎡	—	生涯学習情報提供システム公開端末機（2台）
		図書・ブラウジングコーナー	160㎡	—	—
体 育 館・ ホ ー ル	1 階	武 道 場	336㎡	—	—
		リ ハ ー サ ル 室	93㎡	—	—
		楽 屋 1	12㎡	—	洗面台、丸椅子、コートハンガー
	楽 屋 2	25㎡	—	洗面台、丸椅子、コートハンガー	
2 階	ア リ ー ナ	896㎡	500人	可動椅子500席（有料）、各種音響・照明設備、プロジェクションテレビ、OHC	
学 生 食 堂	1 階		314㎡	220人	烏城高等学校専用
喫 茶 棟	1 階		132㎡	64人	（グリルばる）
グ ラ ウ ン ド			7,273㎡	—	夜間照明
テ ニ ス コ ー ト			1,254㎡	—	オムニコート2面
駐 車 場		立 体 ・ 平 面	1,751㎡	—	普通車180台、大型バス4台、身体障害者用1台
		芝 生	976㎡	—	普通車29台、身体障害者用3台
人 と 科 学 の 未 来 館 サイピア	1 階	科 学 体 験 ・ 学 習 広 場	237㎡	—	液晶プロジェクター、大型モニター、スクリーン他
		プ ロ デ ュ ー ス セ ン タ ー	70㎡	—	ホワイトボード他
		親 子 サ イ エ ン ス ル ー ム	33㎡	—	幼児用絵本、おもちゃ、各種遊具他
	2 階	企 画 展 示 室	101㎡	—	液晶プロジェクター、スクリーン他
サ イ エ ン ス ド ー ム		176㎡	132人	投影機他	

5 施設配置図



生涯学習センター・鳥城高等学校施設内配置図



3 平成28年度事業体系

開所20周年を契機に

◇社会教育の「可能性」を発信	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じた普及啓発と広報 ・好事例の実践発表 ・シンポジウム、記念講演会
----------------	--

社会教育

人材育成

◇基礎研修	・初任者研修
◇実践型指導者養成	<ul style="list-style-type: none"> ・ステップアップ研修 ・【新】親育ち応援学習リーダースキルアップ講座 ・公民館連合会研修会 ・視聴覚ライブラリー担当者研修会
◇地域の中核的人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり人材養成セミナー ・【新】統括コーディネーター養成講座

地域課題等解決の取組のための調査研究と市町村・公民館支援

◇調査研究	・【新】統括コーディネーターに関する調査研究
◇市町村支援	<ul style="list-style-type: none"> ・【新】生涯学習・社会教育よろず相談（市町村コンサルティング）
◇公民館活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館「地域のつながりづくり」実証プログラム ・県公民館連合会

学習支援

学習情報の積極的な発信

◇情報提供	・ばるネット岡山の運営と更新
◇生涯学習大学	<ul style="list-style-type: none"> ・主催講座「現代的課題」、「岡山県の特性」 ・連携講座 ・生涯学習「受講生の集い」
◇学習相談	・相談業務の充実と広報
◇広報	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい媒体による普及啓発 ・HP、Facebook、LINE等による発信
◇教材の活用と提供	<ul style="list-style-type: none"> ・視聴覚教材、機材 ・16mmフィルムデジタル化事業 ・県視聴覚ライブラリー連絡協議会

「学び・交流の場」としての機能充実

◇発表、展示、体験、交流	<ul style="list-style-type: none"> ・京山祭 ・ばるスマイルDay ・社会教育関係団体交流の拠点 ・ボランティアの活動支援
◇生涯学習団体等への貸出	<ul style="list-style-type: none"> ・情報棟（研修室、会議室）の活用 ・交流棟の活用（展示、発表）

科学教育の推進

◇サイピアの運営支援	<ul style="list-style-type: none"> ・フラネタリウムプログラム ・科学実験教室 ・学校学習利用の促進（広報） ・企画展示
◇JAXA連携事業	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育支援（授業支援、教職員研修） ・社会教育支援（宇宙の学校、宇宙教育リーダーセミナー等）

4 平成28年度 主な事業計画

1 開所20周年を契機に

事業名	主な内容	対象：定員	期間	予算
開所20周年記念事業	開所20周年を迎え、その成果と課題等についてまとめた資料を作成し、あわせて記念講演会を開催する。 「開所20周年を契機に(仮)」の発行、シンポジウム開催 記念講演会（講師：倉本聡）の開催	県民一般	29年2月 28年11月	992千円
センターだより（情報誌）等の発行	センターの事業等を紹介するために、要覧、リーフレット、情報誌等を作成し、関係機関等に配布する。	県民一般 関係機関	要覧 年1回 情報誌 年2回 リーフレット 随時	運営費で 対応

2 人材育成

事業名	主な内容	対象：定員	期間	予算	
生涯学習・社会教育関係職員 研修講座 初任者研修	生涯学習・社会教育行政の推進に必要な基礎的な知識・技能の研修を行い、行政職員や生涯学習推進者としての資質の向上を図る。また、職員間のネットワークづくりを支援する。 (第2回は、県北・県南の2会場で実施)	生涯学習・社会教育推進担当で勤務年数が少ない方 基礎的な知識を学びたい方 等	4月～5月	629千円	
生涯学習・社会教育関係職員 研修講座 ステップアップ研修	現代的な課題に対応し、日常の業務に役立つ実践的な研修を体系的に行うことで、担当者や生涯学習によるまちづくりの指導者としての力量の向上を図る。 (地区研修は備前・備中・美作地区で実施)	生涯学習・社会教育担当者 社会教育施設職員 社会教育指導員 生涯学習・社会教育推進の指導者 等	6月～ 28年1月		
【新】親育ち応援学習リーダー スキルアップ講座	「親育ち応援学習リーダー養成講座」の修了生や「親育ち応援学習プログラム」を活用している家庭教育関係者が一堂に会して交流や情報交換を行うことで、ファシリテーターのスキル向上やネットワークの構築、「親プロ」活用に向けての気運を高める。また、今年度作成した追加プログラムを紹介し、活用を促進する。	平成23～27年度「親育ち応援学習リーダー養成講座」修了生、市町村家庭教育担当者、保健福祉関係者、家庭教育支援チーム員、「親育ち応援学習プログラム」活用に興味のある方 等	6月・10月	236千円	
岡山県公民館連合会研修会	公民館研究者等の講演や公民館における現代的課題についての研修を行い、職員や市町村公民館担当者の資質能力の向上を図る。	公民館職員、市町村教育委員会公民館担当者	5月～ 29年2月	県公連予算で対応	
視聴覚ライブラリー担当者会 研修会	視聴覚ライブラリーの運営上の諸問題を話し合い、視聴覚教育の一層の向上を目指す。	視聴覚ライブラリー職員	7月・12月	県視連予算で対応	
地域づくり人材養成セミナー	生涯学習プランナー養成 コース	新たな指導者の発掘と育成、仲間づくりの促進やネットワークの形成・強化、活動の活性化を目的として、理論学習や活動実践等の研修をとおして、地域づくりに取り組む活動者の育成を図る。	生涯学習活動グループリーダーやリーダーを志す者、教育支援活動コーディネーター、社会教育関係団体関係者、NPO・ボランティア関係者、学校・行政関係者 等	6月～12月 8回	726千円
	未来を担う若人育成コース	青少年が自らの思いを社会の中で実現させる行動力を身につけることを目的として、地域活動・ボランティア活動に興味・関心をもつ学生を対象に、活動に必要な知識、技術等を習得させるとともに、演習等をおして学んだものを生かして、それぞれの地域や学校で活躍する人材を養成する。	県内大学生等	6月～9月 10回	
	公開講座	県全域に渡った潜在的ニーズに対応するため公開形式とし、広く参加を呼びかける。また、受講生や他のセンター事業関係者に一般参加者も交え、参加者のネットワークの拡大、強化と資質の向上を図る。	生涯学習プランナー養成コース受講生、未来を担う若人育成コース受講生、センター事業関係者、県民一般	6月・9月 2回	
	【新】統括コーディネーター養成講座	学校支援、放課後・土曜日等支援、家庭教育支援等のコーディネーター同士をつないだり、地域の人材や資源を活用したりしながら、地域課題が解決できる地域の核となる実践的なリーダーを養成する。	学校支援、放課後・土曜日等支援、家庭教育支援等のコーディネーター経験者のうち、市町村教育委員会から推薦された方（各市町村1～2名）	5月～ 29年3月	401千円

3 調査研究と市町村・公民館支援

事業名	主な内容	対象：定員	期間	予算
【新】統括コーディネーターに関する調査研究	統括コーディネーターの養成を推進するため、県生涯学習課と連携し、基礎資料となるアンケート調査や好事例に関する調査研究を実施する。	県内市町村、公民館、学校、各種団体	年間	248千円
【新】生涯学習・社会教育よろず相談	市町村の生涯学習・社会教育計画、各地域に応じた課題、諸事業などについて、大学関係者、県生涯学習センター社会教育主事（コンサルタント）が、市町村教育委員会、公民館等に対するコンサルティングを行うことにより、より有効な生涯学習・社会教育推進体制の整備を図る。	県内市町村、公民館、学校、各種団体	年間	174千円
公民館「地域のつながりづくり」実証プログラム	地域の拠点である公民館が培ってきた「地域のつながりづくり」のノウハウを、先進的な取組を実施している公民館の具体的な活動を通じて実証することにより、公民館の重要性について世論喚起する。	公民館（3館）	4月～29年1月	県公連予算で対応
岡山県公民館連合会	県下の公民館等と連携し、ESDの観点に立った公民館活動の振興発展に寄与する。	公民館職員	随時	県公連予算で対応

4 学習情報の積極的な発信

事業名	主な内容	対象：定員	期間	予算
生涯学習情報提供システムの運営と更新	新情報提供システムの利用状況、実用性、操作性を調査し、より使いやすいシステムづくりを図る。		常時	運営費で対応
生涯学習情報の収集・整理	インターネット上で提供する「講座・講演情報」「講師・ボランティア情報」等の更新と情報量の増加を図るとともに、分野によっては内容を精選し、広く広報を行う。		常時	5,524千円
生涯学習大学	県の特性を生かした講座を開設するとともに、多様な学習講座を体系化し情報提供する。さらに、学習成果を評価することにより社会参加の促進を図る。 (主催講座) ○現代的課題を学ぶコース（3講座） ○岡山県の特性を学ぶコース（1講座） (連携講座) 他の行政機関及び民間が主催する講座	県民一般 定員30名 定員30名 県民一般 定員各講座ごと	年間	5,987千円
生涯学習「受講生の集い」	岡山県生涯学習大学の受講生に対し、証書の授与や学習成果発表の場を提供するとともに、記念講演会を開催し、本県における生涯学習の普及・啓発を図る。	受講生 県民一般	11月・2月	
のびのびキャンパス塾	岡山県生涯学習大学の生涯学習リーダー養成コースの修了生が企画・運営する講座を開設する。	県民一般	年間	運営費で対応
学習相談	学習相談員が面談、手紙、電話、ファクシミリ、電子メールで、生涯学習に関する相談に応じる。	県民一般	常時	運営費で対応
情報・図書資料の収集・整理	図書、逐次刊行物、新聞等を収集・整理し学習者に提供する。	県民一般	常時	運営費で対応
視聴覚コーナーの整備・運営	専用ブースで、郷土に関する映像や映画、アニメーション等を提供する。	県民一般	常時	運営費で対応
視聴覚教材・機材の整備・貸出	視聴覚教材や機材の整備・貸出等を行い、学習活動を支援する。	県内の団体	常時	1,297千円
視聴覚教育の普及・広報活動	視聴覚教育の指導者の養成に努めるとともに、16ミリ映写機利用セミナーを開催するなど、一般への視聴覚教育の普及を図る。 視聴覚教材目録を作成し、視聴覚教材の利用促進を図る。	教材利用団体	随時	運営費で対応
16ミリフィルムデジタル化事業	郷土岡山を紹介する貴重な16ミリフィルムの映像をデジタル化し、広く県民に公開するとともに、後世に映像資料として伝える。			333千円
岡山県視聴覚ライブラリー連絡協議会	県下の視聴覚ライブラリーとの連携を図り、視聴覚教育の推進を図る。	視聴覚ライブラリー職員	随時	県視連予算で対応

5 「学び・交流の場」としての機能充実

事業名	主な内容	対象：定員	期間	予算
京山祭	生涯学習センターの施設の一部を開放し、体験や遊びのコーナーを設け、家族や仲間とのふれあいや交流の場を提供する。	県民一般	6月5日 12月11日	互助助成 事業予算 で対応
ばるスマイルDay	第3土曜日に、ボランティアや各協力団体と協働して、子ども・親子を対象とした体験活動「ばるチャレンジ」、趣味や特技をいかした「ばるコンサート」、子ども向け映画会「ばるシアター」など、県民に体験活動の場とボランティア活動の場を提供する。 また、視聴覚室等を開放し、子どもや大人が楽しみながら映像に親しむとともに豊かな心と感性を育む場を設ける。	県民一般	原則第3土曜日 5月21日 7月16日 9月17日 10月15日 12月17日 3月18日	振興会予 算で対応
発表・展示・交流	展示スペース、交流ロビー等を生涯学習の成果の発表の場として提供する。	生涯学習関連団体 県民一般	随時	運営費で 対応
施設ボランティア活動の促進	自己実現及び社会参加を目的に、自発的、自主的なボランティアとしての活動を促し、生涯学習センター、人と科学の未来館サイピアの運営機能の活性化を図る。	県民一般	常時	運営費で 対応
施設・設備の提供	県民に生涯学習センターの施設・設備を提供し、生涯学習を支援する。	関係機関 県民一般	常時	運営費で 対応

6 科学教育の推進

事業名	主な内容	対象：定員	期間	予算
人と科学の未来館サイピアの運営支援 (指定管理者が実施)	プラネタリウム投影 ドーム内イベント(コンサート、講演) 企画展示 科学実験教室等 学校学習の受入れ 子ども科学クラブ(天文・科学) サイピア友の会 科学フェスティバル サイエンス・インストラクター パンフレット、チラシ、広報紙 サイエンスレクチャー	県民一般 県民一般 県民一般 県民一般 小中学校等 会員 会員 県民一般 県民一般 県民一般 県民一般	年間 年間 年間 休日、夏休み等 随時(平日) 各年間9回 交流会 年1回 夏期 養成講座 年2回 随時 年6回	46,276千円
JAXAとの連携事業	JAXAとの事業連携に基づき、関係機関、団体や市町村教委等と連携を図り、学校教育及び社会教育支援事業を実施し、宇宙教育の振興を図る。 ○学校教育支援活動：県内2小学校を中心に計画 ○教職員研修支援活動：総合教育センター研修において計画 ○社会教育支援活動：コズミックカレッジ ：宇宙の学校 ：宇宙の学校指導者セミナー ：宇宙教育リーダーセミナー ○パブリックビューイング	県内2小学校 県内教員 県民一般 県民一般 県民一般 県民一般	年4回 年1回 年1回 年4回 年1回 年1回	1,456千円
連携・協働型事業	県教育委員会や県高等学校工業教育協会との連携・協働により、魅力的な事業の誘致、共催実施等を図る。	県民一般	随時	運営費で 対応
専門委員会の開催	有識者等による専門委員会を開催し、休日向けの科学教室や平日の学校学習利用、プラネタリウムの運営内容などについて、専門的見地から意見を聴取し、各種施策に反映させる。		年2回	運営費で 対応

5 平成27年度事業実績

1 指導者の養成と研修

事業名	実施期間	内 容 等	参加者数
生涯学習・社会教育 関係職員研修講座 初任者研修	平成27年4月17日	<p>生涯学習・社会教育の推進に必要な基本的な知識の理解・技能の研修を行い、行政職員や生涯学習推進者としての資質向上を図った。また、職員間のネットワークづくりを支援した。</p> <p>◆第1回 ※岡山市新任公民館職員研修と兼ねる。 【講義】「基礎から学ぶ生涯学習・社会教育の進め方～入門編～」 講師 岡山大学大学院 准教授 熊谷 慎之輔 【説明】「岡山県の社会教育行政の現状」 説明 岡山県教育庁生涯学習課 社会教育班長 小坂 誠彦 【演習】「地域のジマン」 岡山市立妹尾公民館 社会教育主事 細川 由起 岡山市立東公民館 社会教育主事 長崎 百絵</p>	65人
	平成27年5月8日 (県南会場) 平成27年5月13日 (県北会場)	<p>◆第2回 ※岡山市新任公民館職員研修、津山市公民館長研修と兼ねる。 【講義・演習】「地域の中で輝く人づくり～実践のためのポイント5か条～」 講師 NPO法人吉備野工房ちみち 理事長 加藤 せい子</p>	(県南)34人 (県北)18人
生涯学習・社会教育 関係職員研修講座 ステップアップ研修	平成27年10月28日	<p>現代的な課題に対応し、日常の業務に役立つ実践的な研修を体系的に行うことで、担当者や生涯学習によるまちづくりの指導者としての力量の向上を図った。</p> <p>◆中央研修 【講演】「離島からの挑戦 ～若者の社会参画に向けて～」 講師 島根県地域振興部・島根県教育庁 教育魅力化特命官 岩本 悠 【演習】「若者の社会参画Q&A」 講師 島根県地域振興部・島根県教育庁 教育魅力化特命官 岩本 悠 岡山市立岡山後楽館高等学校 主幹教諭 室 貴由輝</p>	63人
	平成27年11月11日	<p>◆地区研修：備前地区 ※第2回備前地区社会教育委員連絡協議会研修会、備前地区社会教育研究協議会第3回研修会と兼ねる。 【講演】「これからの社会教育委員に求められるもの」 【演習】「社会教育委員の働き～若者の社会参画の進め方～」 講師 滋賀大学社会連携研究センター センター長 神部 純一</p>	40人
	平成27年8月18日	<p>◆地区研修：備中地区 ※備中地区社会教育専門講座、備中地区社会教育委員連絡協議会第2回研修会と兼ねる。 【パネルディスカッション】「岡山県内の若者の社会参画」 講師 Team夢源 夢源Makers、岡山市出会い応援団実行委員 【講話・ワークショップ】「若者の社会参画の推進のために」 講師 株式会社キャリアリンク 社長 若江 真紀</p>	64人
	平成28年1月22日	<p>◆地区研修：美作地区 ※人づくりまちづくり研修会と兼ねる。 【実践発表】「ワークショップによる地域づくり」 講師 NPO法人21世紀の真庭塾 事務局長 仁枝 章 【講話】「ひろがれ 深まれ 人の力 地域の力」 講師 愛媛大学 名誉教授 讃岐 幸治</p>	45人

事業名	実施期間	内 容 等	参加者数	
社会教育情報ネットワーク事業	平成28年2月17日 ～ 平成28年3月17日 (4市町村会場)	県内市町村の社会教育施設職員等を対象に情報発信力を高めることを目的として研修会を実施し、公民館が行う人づくりや地域づくりを支援する。 (内容) 【講義・演習】情報発信の基礎について プレゼンテーションの基礎 【講師】 岡山県立大学デザイン学部 教授 嘉数 彰彦 岡山県生涯学習センター振興課員 【会場】 新庄村公民館 [2月17日] 奈義町文化センター [2月19日] 岡山県生涯学習センター(吉備中央町) [3月16日] 高梁市文化交流館 [3月17日]	4名 7名 10名 12名	
教育支援活動コーディネーター等研修会(中央研修)	平成27年5月26日 平成27年7月23日	おかやま子ども応援事業の教育支援活動を効果的に進めるために、地域において中心的な役割を担うコーディネーター等関係者の資質向上を図った。 ◆学校支援 【説明】『子どもが安心して学び成長できる環境づくり』の実現に向けて 説明 岡山県教育庁生涯学習課員 【演習】「つながりでひろげる学校支援」 東京都小平市立学校支援コーディネーター 布 昭子 ◆放課後等・土曜日教育支援、家庭教育支援 【説明】岡山県教育庁生涯学習課員 【講話】「地域で子どもを育てるには」 島根県益田市教育委員会 社会教育課長 大畑 伸幸 【実践発表・演習】「つながりでひろげる教育支援」 放課後NPOアフタースクール 代表理事 平岩 国泰 【実践発表・演習】「親も子も育ち合うまちづくり」 ママ友サークル B☆K. MOM 小原 由佳、辻田 彩	65人 51人	
地域づくり人材養成セミナー	生涯学習プランナー養成コース	平成27年5月27日 ～ 平成27年11月22日 (年7回)	新たな指導者の発掘と育成、仲間づくりの促進やネットワークの形成・強化、活動の活性化を目的として、理論学習や活動実践等の研修をとおして、地域づくりに取り組む活動者の育成を図った。 ◆第1回 地域づくりの際に必要な目線を確認する ◆第2回 地域づくりの実践事例を聞く(公開講座Ⅰ) ◆第3回 地域づくりの仮説を立てる ◆第4回 地域づくりの目標を立てる ◆第5回 地域づくりの計画を立てる (課外) 計画を実践する ◆第6回 達成度を検証する ◆第7回 実践活動・プロジェクトを発表する(公開講座Ⅱ) 講師 NPO法人 岡山NPOセンター 副代表理事 石原 達也 事例発表者 NPO法人 山村エンタープライズ 代表 藤井 裕也	25人
	未来を担う若人育成コース	平成27年5月24日 ～ 平成27年11月22日 (年8回)	地域活動・ボランティア活動に興味をもつ県内大学生等を対象に、自らの思いを社会の中で実現させる行動力を身につけることを目的として、自主性やリーダーとしての資質を高める実践型研修をとおして、それぞれの地域や学校で活躍する人材を育成した。 ◆第1回 地域活動・ボランティア活動について知る ◆第2回 地域づくりの実践事例を聞く(公開講座Ⅰ) ◆第3回 地域活動・ボランティア活動の方法について知る ◆第4回 体験実践先を視察し、計画を練る ◆第5回 体験活動実践・ボランティア実習 ◆第6回 実践活動を振り返り、企画立案する ◆第7回 地域での実践活動を企画する ◆第8回 実践活動・プロジェクトを発表する(公開講座Ⅱ) 講師 NPO法人 ふれあいサポートちゃていず 代表理事 湊 照代 事例発表者 NPO法人 山村エンタープライズ 代表 藤井 裕也	13人
	公開講座(再掲)	平成27年6月14日 平成27年11月22日	◆地域づくりの実践事例を聞く ◆実践活動・プロジェクトを発表する	

事業名	実施期間	内 容 等	参加者数
視聴覚ライブラリー 担当者研修会①	平成27年7月9日	岡山県生涯学習センター 講義棟1階 小会議室 「著作権とライブラリー」 講師：岡山県行政書士会みわ行政書士法人 三輪 和也	9人
視聴覚ライブラリー 担当者研修会②	平成27年12月9日	R S K岡山映像ライブラリーセンター 「映像という偉大な遺産」(16ミリ映写機利用セミナー) 講師：R S K岡山映像ライブラリーセンター長 小松原 貢	10人

2 情報提供・学習相談

事業名	実施期間	内 容 等	
学習相談	年 間	学習相談員が面談、手紙、電話、ファクシミリ、電子メールで生涯学習に関する相談に応じた。	
生涯学習情報提供	生涯学習情報提供システムの整備	年 間	県内の生涯学習ポータルサイトとして、県内の関係教育機関が、データを入力、活用できるようにIDの発行・「利用の仕方」についての研修等を行った。
	生涯学習情報の収集・整理	年 間	コンピュータネットワークで提供する「講座・講演情報」「学習施設情報」「視聴覚教材情報」「講師・ボランティア情報」「子ども向け情報」「子育て支援情報」等12分類の情報収集・整理に努めた。「講師・ボランティア情報」「学習プログラム情報」の更新を、県・市町村・各種団体等と連携して行った。
	視聴覚コーナーの整備・運営	年 間	郷土に関する映像やアニメーション映画等、970本の映像を提供した。
	情報・図書資料の収集・整理	年 間	図書、逐次刊行物、新聞等を収集・整理し学習者に提供した。
	催し物案内(情報誌)等の発行	年 間	要覧(1,200部)、情報誌「生涯学習センターだより」(10,000部(6月)、10,000部(11月))、リーフレット等を作成し、関係機関に配付し、センター事業等の紹介をした。
視聴覚メディア活用学習促進	視聴覚教材・機材の整備、貸出	年 間	県内全域にわたる社会教育団体・学校等に対し、視聴覚教材・機材等の貸出をした。また、DVD 84作品を購入・整備し、視聴覚教材の整備に努めた。
	視聴覚教育の普及事業	年 間	16ミリ映写機利用セミナーを開催するなど、地域視聴覚ライブラリーや一般への視聴覚教育の普及に努めた。
	視聴覚教材広報活動	年 間	視聴覚教材目録を5,000部作成し社会教育団体・学校等へ配付した。また、「岡山県教育時報」等で教材の紹介を行った。
	岡山県視聴覚ライブラリー連絡協議会	年 間	県下13視聴覚ライブラリーとの連携を図り、視聴覚教育の推進に努めた。
	16ミリフィルムデジタル化事業		昭和40年代前半～50年代前半に岡山県が企画した貴重なフィルム映像「おかやま拝見」「ふれあいのまちやむら」を新たにデジタルアーカイブし、DVDとして保存し、県内視聴覚ライブラリー等に配付した。

3 生涯学習大学の開設

事業名	実施期間	内 容 等	参加者数
生涯学習大学	年 間	<p>県の特性を生かした講座を行うとともに、他の行政機関や民間が行う多様な学習講座を体系化し、学習機会を提供した。</p> <p><主催講座></p> <ul style="list-style-type: none"> ○現代的課題を学ぶコース（3講座） 「認知症と向き合おう～少子高齢社会における豊かな老後～」岡山県立大学 「心豊かにいきいきと生きる」くらしき作陽大学 「『水』を科学する」岡山理科大学 ○岡山県の特性を学ぶコース（1講座） 「吉備（キビコク）発オモシロ玉手箱」吉備国際大学 <p><連携講座></p> <p>行政機関及び民間等が主催する講座を連携講座として協力いただいた。 講座数796講座</p>	<p>47人</p> <p>144人</p> <p>32人</p> <p>28人</p>
のびのびキャンパス塾	平成27年9月15日～18日	岡山県生涯学習大学の大学院コース「学習指導」修了生が企画運営する講座の支援・指導助言を行い、講座開設者としての資質向上を図った。	10人
生涯学習「受講生の集い」	平成28年2月21日	生涯学習大学単位認定証書、修了証書、奨励証の授与、体験発表。 記念講演「心のキャッチボール」吉川 美代子	555人

4 調査研究

事業名	実施期間	内 容 等	参加者数
若者の社会参画に関する調査研究	年 間	<p>県社会教育委員の会議と連携するとともに、検討委員会を開催して調査研究を進めた。社会教育・生涯学習の中核的拠点である公民館を訪問し、中高生の当日の参加だけでなく、事前参画の様子とキーパーソンの思い・工夫の二点に焦点化して聞き取り調査を行った。5事例の紹介とともに、実践の際のポイントがより詳細にわかるように、優れた実践者の座談会を開催してまとめた実践事例集を発行し、各市町村教育委員会・公民館・中学校・高等学校等に配付した。</p>	

5 交流・連携と施設・設備の活用

事業名	実施期間	内 容 等	参加者数
京山キッズ・ゾーン「京山祭」	平成27年6月7日 平成27年12月13日 平成28年3月19日	隣接する太陽の丘公園、池田動物園と共同で、子ども向けのイベントを行った。 (※6月7日は「大学コンソーシアム岡山」と共催)	<p>3,000人</p> <p>2,900人</p> <p>1,480人</p>
ばるスマイルDay	平成27年5月16日～ 平成28年3月19日 (年6回)	体験活動を中心とした「ばるチャレンジ」、演奏を中心とした「ばるコンサート」、映画会を中心とした「ばるシアター」を行った。	延2,318人
発表・展示・交流	年 間	展示スペースを40団体（197日）に提供した。	
施設・設備の提供	年 間	県民に生涯学習センターの施設・設備を開放したり、貸し出しをした。	

6 科学教育の普及・推進

(ア) JAXAとの連携事業

事業名	実施期間	内 容 等	参加者数	
学校教育	授業支援	平成27年11月20日 <指定校>美作市立東栗倉小学校 【内容】・宇宙太陽光発電のJAXA研究員から地球と宇宙の環境の違いや、宇宙空間での発電の意義と開発の苦労について説明等を行った。 講師 JAXA研究開発部門SSPS研究チーム 研究員 上土井 大助	17人	
	授業支援	平成27年11月24日 <指定校>岡山市立西小学校 【内容】・JAXAで衛星等の追跡を行っている岡山出身の技術者から宇宙開発に携わるようになった経緯や子供の頃の夢を実現するために努力し続けることの大切さについて説明等を行った。 講師 国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 追跡ネットワーク技術センター 主任開発員 米倉 克英	211人	
教育支援	教員研修支援	平成27年6月26日 (総合教育センター) 【内容】・JAXA宇宙教育センターの活動紹介 講師 JAXA宇宙教育センター 小島 彩美 ・講演「イプシロンロケット開発(製作)について」 講師 JAXAイプシロンロケットプロジェクトチーム サブマネージャ 井元 隆行 ・JAXA・島根大学連携の探求プログラム「かくやが解き明かした月のひみつ」 講師 RESTEC ソリューション事業部 藤島 暢子 ・「月長期滞在ミッションの最適地をさがそう」 講師 JAXA宇宙科学研究所 科学衛星運用・データ利用ユニット 主任開発員 増田 宏一 講師 島根大学 地域課題学習支援センター 副センター長 高須 佳奈	22人	
社会教育支援	宇宙教育リーダーセミナー	平成28年2月10日 平成28年2月11日 【内容】・宇宙教育とは? ・宇宙教育教材に触れてみよう 講師 JAXA宇宙教育センター 主査 渡邊 敦	2/10 26人 2/11 19人	
	宇宙の学校	平成27年6月28日	第1回 【内容】・開校式 ・オリエンテーション ・熱気球 講師 JAXA宇宙教育センター長 佐々木 薫	126人
		平成27年8月30日	第2回 【内容】・海の色はなぜ青い ・どんぐりのお話 講師 KU-MAスタッフ 市川 哲彦	111人
		平成27年11月29日	第3回 【内容】・静電気 ・やじるべいとどんぐりのお話 講師 KU-MA理事 江崎 士郎	95人
		平成28年1月31日	第4回 【内容】・ロケット ・レポート発表会 ・閉校式 講師 KU-MAスタッフ 市川 哲彦	88人
	指導者セミナー	平成27年6月21日 【内容】・「宇宙の学校」について ・宇宙教育教材を使った演習 講師 KU-MA副会長 遠藤 純夫 KU-MAスタッフ 百瀬 一郎	23人	

(イ) その他の事業

事業名	実施期間	内 容 等	参加者数
金井宇宙飛行士との 交信イベント	平成28年3月5日	【内容】・金井宇宙飛行士との交信 ・宇宙教育活動プログラム①「コミュニケーションテスト」 ・宇宙教育活動プログラム②「JAXA宇宙開発最新情報」 「JAXAの挑戦!ーはやぶさ、あかつき、そして水星探査へー」 講師 JAXA宇宙教育推進室 清水 幸夫	363人
パブリックビューイング	平成27年7月23日	◆油井宇宙飛行士搭乗 ソユーズ宇宙船打ち上げ・ISS入室	40人
	平成27年8月19日	◆「こうのとりの5号機」/H-II Bロケット5号機打ち上げ	50人
	平成27年12月11日	◆ソユーズ宇宙船分離、油井宇宙飛行士の国際宇宙ステーション(ISS)からの地球帰還	30人
	平成28年2月17日	◆X線天文衛星「ASTRO-H」/H-II Aロケット30号機打ち上げ	50人

7 施設設備の利用状況

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(ア) 情報創作棟利用（施設貸出）

(件)

施設設備名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
視聴覚室	14	20	13	14	17	12	14	18	12	16	15	11	176
大研修室	25	20	22	24	23	22	31	24	26	21	28	23	289
洋研修室	13	13	18	15	17	16	16	18	15	16	14	17	188
和研修室	9	8	16	9	15	15	18	16	11	14	13	8	152
ミーティング室1	29	29	27	29	29	27	30	30	24	23	33	29	339
ミーティング室2	29	31	26	35	27	33	34	34	27	32	28	38	374
ミーティング室3	21	22	26	27	19	27	28	26	21	26	26	23	292
ミーティング室4	14	20	22	30	25	30	28	29	23	22	29	22	294
ミーティング室5	19	25	21	19	23	26	21	26	22	26	22	27	277
美術教室	11	11	11	9	14	13	8	10	15	16	11	7	136
木工教室	5	8	12	7	7	8	5	6	10	8	2	3	81
陶芸教室	7	11	16	12	11	9	10	10	15	11	7	4	123
書道教室	15	20	29	16	20	28	30	23	25	28	22	16	272
パソコン教室1	3	0	5	4	7	3	4	4	2	6	1	0	39
パソコン教室2	8	5	8	5	7	10	11	11	6	6	6	6	89
ボランティア室	22	32	19	28	22	25	26	23	19	19	26	27	288
録音録音スタジオ	6	2	5	10	7	5	4	7	6	2	2	3	59
試写室	8	15	11	11	15	14	13	16	14	14	12	9	152
編集室	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	4

(イ) 交流棟利用（施設貸出）

(日)

施設設備名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
交流棟展示スペース	11	12	3	12	10	19	27	24	22	18	16	23	197

(ウ) 人と科学の未来館サイピア利用（施設貸出）

(件)

施設設備名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
サイエンスドーム													
科学体験・学習広場		6	11	8		11	44	12	3	1	7	4	107
企画展示室													
プロデュースセンター													

(エ) 人と科学の未来館サイピア利用（施設入館等）

(人)

施設設備名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
サイピア入館者数	9,011	12,870	9,940	8,022	13,232	8,591	8,581	6,355	9,579	6,116	6,040	7,331	105,668
サイエンスドーム観覧者数	1,975	3,602	2,117	2,554	4,349	2,481	3,323	1,557	1,347	1,205	1,491	1,562	27,563

8 生涯学習情報提供システム（ぱるネット岡山）

(ア) データ保有数

(平成28年3月31日現在)

種 類	件 数	種 類	件 数	種 類	件 数	種 類	件 数
講座・講演	94,550	団体・グループ	2,856	講師・ボランティア	670	視聴覚教材	6,308
施設・文化財	3,820	資 格	1,011	学習相談窓口	125	学習プログラム	1,096
学習相談事例	97	合 計				110,533	

(イ) 利用状況

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

種 類	件 数	種 類	件 数	種 類	件 数	種 類	件 数
講座・講演	15,899	団体・グループ	620	講師・ボランティア	3,735	視聴覚教材	8,509
施設・文化財	2,433	資 格	399	学習相談窓口	105	学習プログラム	573
学習相談事例	180	合 計				32,453	

9 学習相談件数

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

種 類	件 数	種 類	件 数	種 類	件 数	合 計
講座・講師	53	施設・設備	372	図書	101	761
視聴覚視聴	90	視聴覚教材	51	その他	94	

10 視聴覚コーナー

(ア) ソフト保有本数 (DVD)

(平成28年3月31日現在)

種 類	件 数	種 類	件 数	種 類	件 数	合 計
郷土	23	アニメ	216	洋画	115	950
邦画	124	教養	87	その他	385	

(イ) 利用状況

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

種 別	L D教材	D V D教材	C D・ビデオ	合 計
回 数	84	2,737	9	2,830

11 視聴覚教材コーナー

(ア) 保有本数

(平成28年3月31日現在)

16ミリ映画	ビデオ教材	D V D・B D教材	合 計
2,298	3,263	992	6,553

(イ) 貸出状況

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用本数(本)	DVD・BD教材	35	73	137	85	145	41	77	75	111	64	40	21	904
	ビデオ教材	5	10	17	31	24	15	31	11	20	22	12	3	201
	16ミリ映画	0	0	1	12	8	4	2	3	1	3	0	3	37
	計	40	83	155	128	177	60	110	89	132	89	52	27	1,142
閲覧者数(人)	DVD・BD教材	3,540	5,007	14,980	5,149	14,624	2,021	8,260	5,126	12,062	6,869	4,432	2,666	84,736
	ビデオ教材	661	397	3,571	1,695	534	860	3,698	1,321	2,193	2,126	1,853	54	18,963
	16ミリ映画	0	0	160	776	310	500	270	600	260	15	0	210	3,101
	計	4,201	5,404	18,711	7,620	15,468	3,381	12,228	7,047	14,515	9,010	6,285	2,930	106,800

12 図書・ブラウジングコーナー

図書所蔵冊数

(平成28年3月31日現在)

区 分	冊 数	区 分	冊 数	区 分	冊 数	区 分	冊 数
一般図書	20,000	生涯学習関連資料	7,050	購入雑誌	187冊	購入新聞	6紙
(うち鳥城高等学校図書)	8,000						

6 関係条例及び規則

岡山県生涯学習センター条例

〔平成8年12月24日〕
岡山県条例第39号

(目的及び設置)

第1条 県民の生涯にわたる学習活動（次条において「生涯学習」という。）の振興を図るため、岡山県生涯学習センター（以下「センター」という。）を岡山市に設置する。

(業務)

第2条 センターは、前条の目的を達成するため、次の業務を行う。

- (1) 生涯学習指導者の養成及び生涯学習関係者の研修
- (2) 生涯学習に関する情報の収集及び提供並びに生涯学習相談
- (3) 生涯学習に関する講座の開設
- (4) 生涯学習に関する調査及び研究
- (5) 科学に関する学習の機会の提供
- (6) センターの施設及び設備（以下「施設等」という。）の提供
- (7) 前各号に掲げるもののほか、センターの目的の達成に必要な業務

(開所時間及び休所日)

第3条 センターの開所時間及び休所日は、教育委員会規則で定める。

(指定管理者による管理)

第4条 センターの管理に関する業務のうち次条に規定する業務は、第13条第1項の規定により岡山県教育委員会（以下「教育委員会」という。）が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

(指定管理者が行う業務)

第5条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 施設等の維持管理に関すること。
- (2) 施設等の利用の許可に関すること。
- (3) 施設等の提供に関すること。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、センターの運営に関し教育委員会が必要と認める業務

(利用等の許可)

第6条 センターにおいて次に掲げる行為をしようとする者は、教育委員会規則で定めるところにより、指定管理者の許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

- (1) 別表の1から3までに掲げる施設等の利用
 - (2) サイエンスドームにおける天体運行等の投影の観覧
- 2 指定管理者は、センターの管理上必要な範囲内で前項の許可に条件を付することができる。
- 3 指定管理者が別に定める観覧券により観覧しようとする者については、第1項第2号の観覧に係る許可を受けたものとみなす。

(入所の制限等)

第7条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対して、センターへの入所を拒否し、又はセンターからの退去を命ずることができる。

- (1) 公共の秩序を乱し、又は善良の風俗を害するおそれがある者
- (2) 施設等を損傷するおそれがある者
- (3) 施設等の利用が、集団的に又は常習的に暴力的不法行為等を行うことを助長するおそれがある団体の利益になると認める者
- (4) その他センターの管理上支障があると認める者

(許可の取消し等)

第8条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対して、第6条第1項の許可を取り消し、若しくはその条件を変更し、又は行為の中止、原状回復若しくはセンターからの退去を命ずることができる。

- (1) この条例若しくはこの条例に基づく教育委員会規則又はこれらの規定に基づく処分に違反している者
 - (2) 偽りその他不正な手段により第6条第1項の許可を受けた者
 - (3) 第6条第2項の条件に違反している者
- 2 指定管理者は、施設等に関する工事のためその他公益上やむを得ない必要が生じたときは、第6条第1項の許可を受けた者（次条において「利用者」という。）に対して、同項の許可を取り消し、又はその条件を変更することができる。

(利用料金)

第9条 第6条第1項の許可を受けた行為に係る料金（以下この条において「利用料金」という。）は、指定管理者にその収入として収受させる。

- 2 利用料金は、別表に掲げる基準額に0.5を乗じて得た額から当該基準額に1.5を乗じて得た額までの範囲内の額で指定管理者が知事の承認を受けて定める額とする。
- 3 利用者は、指定管理者に利用料金を前納しなければならない。ただし、指定管理者が別に納期を定めたときは、この限りでない。
- 4 指定管理者は、特に必要があると認めるときは、あらかじめ知事の承認を受け、利用料金を減免することができる。
- 5 納付した利用料金は、返還しない。ただし、利用者の責めに帰することができない理由により許可を受けた施設等を利用することができなくなったときその他指定管理者が相当の理由があると認めるときは、この限りでない。

(職員)

第10条 センターに、所長その他必要な職員を置く。

(指定管理者の公募)

第11条 教育委員会は、指定管理者の指定をしようとするときは、教育委員会規則で定めるところにより、当該指定を受けようとするものを公募するものとする。ただし、特別の理由がある場合は、この限りでない。

(指定管理者の指定の申請)

第12条 指定管理者の指定を受けようとするものは、センターの管理に係る事業計画書その他教育委員会規則で定める書類を添えて、教育委員会に申請しなければならない。

(指定管理者の指定)

第13条 教育委員会は、次の各号のいずれにも該当するもののうちから最も適当と認めるものを指定管理者として指定するものとする。

- (1) 事業計画の内容が住民の平等な利用を確保することができるものであること。
- (2) 事業計画の内容がセンターの機能を最大限に発揮させるとともに、その管理に係る経費の縮減が図られるものであること。
- (3) 事業計画に沿った管理を安定して行うことができるものであること。
- (4) その他センターの業務を効果的に行うため教育委員会が必要と認める基準に適合するものであること。

2 教育委員会は、前項の規定による指定をしたときは、その旨を告示するものとする。

(事業報告書の提出)

第14条 指定管理者は、教育委員会規則で定めるところにより、事業報告書を作成し、教育委員会に提出しなければならない。

(業務報告等)

第15条 教育委員会は、センターの管理の適正を期するため、指定管理者に対して、当該管理の業務又は経理の状況に関し報告を求め、実地について調査し、又は必要な指示をすることができる。

(指定の取消し等)

第16条 教育委員会は、指定管理者が前条の指示に従わないときその他当該指定管理者による管理を継続することが適当でないと認めるときは、その指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ずることができる。

2 教育委員会は、前項の規定による指定の取消しをしたときは、その旨を告示するものとする。

(教育委員会規則への委任)

第17条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

この条例は、平成9年1月1日から施行する。

(中略)

附 則

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

岡山県生涯学習センター条例別表（第6条、第9条関係）

- | | |
|---------------------------------------|--------|
| 1 施設（情報創作棟施設、人と科学の未来館サイピア施設） | } (表略) |
| 2 冷暖房設備（情報創作棟冷暖房設備、人と科学の未来館サイピア冷暖房設備） | |
| 3 設備金額（液晶プロジェクター等） | |
| 4 観覧料（人と科学の未来館サイピア観覧料） | |

岡山県生涯学習センター条例施行規則

〔平成8年12月24日
岡山県教育委員会規則第19号〕

(趣 旨)

第1条 この規則は、岡山県生涯学習センター条例(平成8年岡山県条例第39号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(開 所 時 間)

第2条 岡山県生涯学習センター(以下「センター」という。)の開所時間は、次のとおりとする。

区 分		開所時間
児童遊園地		午前9時から午後5時まで
その他の区域	火曜日から土曜日まで(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)を除く。)	午前9時から午後9時まで
	日曜日及び休日	午前9時から午後5時まで

2 前項の規定にかかわらず、岡山県教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、必要があると認めるときは、開所時間を臨時に変更することができる。この場合においては、あらかじめその旨をセンターの掲示板に公示するものとする。

(休 所 日)

第3条 センターの休所日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日(その日が休日に当たるときを除く)
- (2) 休日の翌日(その日が休日でない火曜日から金曜日までに当たるときに限る。)
- (3) 12月28日から翌年の1月4日まで

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会は、必要があると認めるときは、休所日に開所し、又は臨時に休所日を定めることができる。この場合においては、あらかじめその旨をセンターの掲示板に公示するものとする。

(天体運行等の投影の回数等)

第4条 サイエンスドームにおける天体運行等の投影の回数及び開始時刻は、指定管理者(条例第4条に規定する指定管理者をいう。以下同じ。)が教育委員会の承認を受けて定めるものとする。

(利用の許可の申請)

第5条 条例第六条第一項の規定により、条例別表に掲げる施設若しくは設備(以下「施設等」という。)の利用の許可又は許可を受けた事項の変更の許可を受けようとする者は、指定管理者が教育委員会の承認を受けて定める申請書を指定管理者に提出しなければならない。

(利用者等の遵守事項)

第6条 条例第六条第一項の許可を受けた者(以下「利用者」という。)は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。利用者の行う行事等のために入所する者も、同様とする。

- (1) 利用の許可を受けた施設以外の施設に立ち入らないこと。
- (2) 利用の許可を受けた設備以外の設備を利用しないこと。
- (3) 火災、盗難等の事故の発生予防に留意すること。
- (4) センターの職員又は指定管理者の指示に従うこと。
- (5) その他教育委員会又は指定管理者が必要と認める事項

(損壊の届出等)

第7条 利用者は、施設等を損壊し、又は滅失したときは、直ちに教育委員会又は指定管理者に届け出てその指示に従わなければならない。

(利用の終了の届出)

第8条 利用者(条例第6条第1項第2号の観覧に係る許可を受けた者を除く。)は、施設等の利用を終了したときは、速やかに指定管理者に届け出なければならない。

(視聴覚教材等の貸し出し)

第9条 視聴覚教材及び視聴覚機材の貸し出しは、生涯学習の目的のために利用する場合に限り、行うものとする。

2 前項の貸し出しを受けようとする者は、指定管理者が教育委員会の承認を受けて定める申請書を指定管理者に提出しなければならない。

(そ の 他)

第10条 この規則に定めるもののほか、センターの管理及び運営に関し必要な事項は、教育委員会、所長又は教育委員会の承認を受けて指定管理者が別に定める。

附 則

この規則は、平成9年1月1日から施行する。

(中略)

附 則

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

施設等利用料金表

<情報創作棟施設・設備利用>

(単位：円)

区分 施設・設備等 (定員・面積・階)				9:00～ 12:00	13:00～ 17:00	18:00～ 21:00	9:00～ 17:00	13:00～ 21:00	9:00～ 21:00	冷房 (1時間当)	暖房 (1時間当)	
視聴覚室	72人	261㎡	1F	5,400	7,200	5,400	14,300	14,300	21,500	630	530	
大研修室	150人	261㎡	2F	5,000	6,700	5,000	13,400	13,400	20,100	630	530	
洋研修室	12人	33㎡	3F	800	1,100	800	2,200	2,200	3,300	80	60	
和研修室	8畳	33㎡	3F	600	800	600	1,600	1,600	2,400	80	60	
ミーティング室①	18人	28㎡	2F	600	800	600	1,600	1,600	2,300	70	50	
ミーティング室②	12人	22㎡	2F	500	600	500	1,200	1,200	1,800	50	40	
ミーティング室③	18人	28㎡	2F	600	800	600	1,600	1,600	2,300	70	50	
ミーティング室④	18人	40㎡	4F	700	1,000	700	1,900	1,900	2,900	90	80	
ミーティング室⑤	26人	58㎡	5F	1,000	1,400	1,000	2,800	2,800	4,100	130	110	
美術教室	35人	80㎡	3F	2,800	3,700	2,800	7,500	7,500	11,200	390	310	
木工教室	8人	39㎡	3F	900	1,200	900	2,500	2,500	3,700	90	70	
陶芸教室	24人	39㎡	3F	800	1,000	800	2,100	2,100	3,100	90	70	
書道教室	32人	66㎡	3F	1,200	1,600	1,200	3,200	3,200	4,700	150	130	
パソコン教室①	40人	116㎡	4F	7,100	9,500	7,100	18,900	18,900	28,400	270	220	
パソコン教室②	20人	66㎡	4F	3,000	4,000	3,000	8,000	8,000	11,900	150	130	
ボランティア室	18人	40㎡	4F	700	1,000	700	1,900	1,900	2,900	90	80	
録画・録音 スタジオ	-	116㎡	5F	録画	4,500	6,000	4,500	11,800	11,800	17,900	270	220
				録音	2,500	3,300	2,500	6,600	6,600	9,900	270	220
試写室	18人	66㎡	5F	1,400	1,800	1,400	3,600	3,600	5,500	150	130	
編集室	-	21㎡	5F	600	700	600	1,500	1,500	2,300	50	40	
放送設備				一式1時間につき 380円 (交流棟に保管しているもの)								
資料提示装置				一式1時間につき 140円 (大研修室)								
液晶プロジェクター				一式1時間につき 230円 (大研修室)								
茶道具				一式1時間につき 690円 (和研修室)								
ピアノ				一式1時間につき 980円 (録画・録音スタジオ)								
陶芸窯				一台1時間につき 890円								

<人と科学の未来館サイピア施設利用>

区分 施設・設備等 (定員・面積・階)				9:00～ 12:00	13:00～ 17:00	18:00～ 21:00	9:00～ 17:00	13:00～ 21:00	9:00～ 21:00	冷房 (1時間当)	暖房 (1時間当)	
サイエンス ドーム	132席	176㎡	2F	投影装置を使用する場合	49,000	65,300	49,000	130,700	130,700	196,000	1,160	1,090
				投影装置を使用しない場合	8,500	11,400	8,500	22,700	22,700	34,100	1,160	1,090
科学体験・学習広場	-	237㎡	1F	5,600	7,400	5,600	14,800	14,800	22,200	410	310	
企画展示室	-	101㎡	2F	2,000	2,700	2,000	5,400	5,400	8,100	170	130	
プロデュースセンター	-	70㎡	1F	1,700	2,200	1,700	4,400	4,400	6,700	120	100	

※12:00～13:00及び17:00～18:00の使用料の額は13:00～17:00の使用料額の1/4の額とする。(10円未満切り上げ)

※1時間未満の時間は1時間として計算する。

冷房期間：6月1日～9月30日、暖房期間：12月1日～3月31日

特例期間：上記冷暖房期間の前後2週間程度(工事などのため、冷暖房の利用ができない場合がある。)

<人と科学の未来館サイピア観覧料>(1人1回につき)

区分	観覧料	割引料金
一般(65歳未満)	520	470
一般(65歳以上)	310	260
高校生	300	240
小学生・中学生	100	80
小学生未満	無料	無料

※友の会会員は年度内無料、団体利用(30名以上)及びももっカード利用による観覧の場合は割引料金を適用する。ただし、特別投影及びイベント等を除く。